



小川小学校

HP:<http://www.ogawa-e.murakami.ed.jp>

令和4年6月15日
〒958-0268
村上市小川1-4
TEL:0254-52-2723
FAX:0254-52-4327

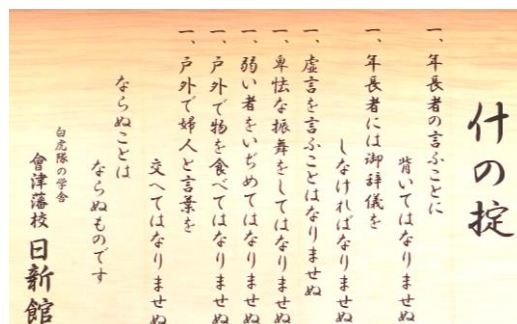
『ならぬことはならぬものです』

校長 佐藤 進

6月8日、9日の2日間、6年生が会津体験学習に行ってきました。1日目は雨模様でしたが、飯盛山、日新館、野口英世記念館等、貴重な体験をたくさん行うことができました。2日目は天気にも恵まれ、鶴ヶ城の天守閣から会津若松市内を一望したり、グループ学習で市内散策を行ったりし、会津地方を満喫して帰ってきました。

標題の「ならぬことはならぬものです」は、会津藩士・基礎の心得「什の掟」の最後に書かれている言葉です。昔、会津藩では、什長（今のグループリーダー）が、幼い子どもたちへ社会人としての基本を教えていました。自らを律するために申し聞かせる「什の掟」の最後には、「ならぬことはならぬものです」と言って聞かせ、反省会をしていたのだそうです。

江戸時代のことですから、現代にはそぐわない内容もありますが、「虚言（うそ）を言うことはなりません」「卑怯な振る舞いをしてはなりません」「弱い者をいじめてはなりません」と、現代でも大切なことを「什の掟」で教えています。今回、6年生が日新館で座禅体験を行った際、住職の方から教えていただき、心を引き締めました。



6月は、いじめ見逃しゼロ強調月間です。小川小学校では、「思いやりの気持ちをもって生活しよう」という月のめあてを決め、ふわふわ言葉（相手の心が温かくなる言葉）を増やし、ちくちく言葉（相手を傷つける言葉）をなくしていくことを全校児童で約束しました。6年生の会津体験学習では、階段が苦手な子にそっと手を差し伸べたり、あかべこの塗り方に迷っている子に、「こうしたらどう」と教えたりと、優しく思いやりのある場面がたくさん出会うことができました。また、6月1日の歩き遠足では、上学年の子どもたちが、1年生に「大丈夫」と声をかけたり、手を引いて歩いたり、助け合う姿がどの班にも見られました。思いやりのある行動が自然にとれる子どもたちに、いつも心が温かくなります。

一方、「みんなと違うことをしている」「話しかけても答えてくれない」からと、もっともらしい理由を付け、悪口や無視、嫌がらせなど、「いじめ」をすることは、絶対にやってはいけません。まさに、「ならぬことはならぬ」のです。互いのよさや個性、違いを認め合い、どの子も学校が楽しい、この学校でよかった、そんな学校となるよう、保護者、地域の皆様のお力を借りながら、ともに目指していきたいと思ひます。

5/24(火) めあてに向かって、がんばって走り切った 「マラソン大会」



低学年



中学年



高学年



何より、全員完走したことが、大変素晴らしかったと思います。練習の成果がしっかりと発揮された大会でした。たくさんのボランティアの皆様のご協力、大変ありがとうございました。

6/1(水) 縦割り班で、仲良く協力して歩いた「歩き遠足」

ボランティアの皆様、ご参加ありがとうございました。



事前のオリエンテーションでは、班のメンバーで、めあてを立てたり、役割を決めたりしました。班長を中心に、みんなしっかりメモを取っていました。

村上中等教育学校で、休憩。さあ、出発だ！



松林までの道のり。
まだ着かないかな。



松林の緑は、気持ちいいね。



もうすぐ、海が見えるぞ。



モニュメントの鐘を
鳴らして、いいこと
ありますように！



公園に到着。一休みです。



帰ってから、しっかり振り返りを書きました。

